

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月24日更新

事務事業名		地域人権啓発活動活性化事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	飯開 輝久雄
	施策	12	人権が尊重される社会づくり			所属課	人権啓発教育課	担当者名	古澤 沙也加
	施策の柱	43	人権尊重についての理解と相談体制の充実			所属班	啓発教育班	(内線)	5333
予算科目		会計一般	款 3	項 1	目 8	事業連番 11443	根拠法令	人権啓発活動地方委託要綱第3条第6号	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始				事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	県から地域活性化事業としての委託を受け、熊本地方法務局、人権擁護委員協議会と連携し「人権の花」運動を小学校で実施する。熊本地方法務局阿蘇・大津支局管内の小学校での輪番制になっており、今年度は合志小学校にて実施。
【業務の流れ】	地方委託事業実施計画書の作成・提出。必要物品の見積もり及び発注。実施校での伝達式及びイベントの開催。
【主な予算費目】	
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO)	合志小学校にて人権の花運動を実施し、学校を挙げて人権意識の大切さを学び、その向上に努めた。	2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 阿蘇大津管内で輪番制で実施しているため、次年度は実施予定なし。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 → イベント開催回数	予算の主な増減の理由 「人権の花」運動を阿蘇大津管内での輪番制により実施しないことによる減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 実施小学校の児童	(単位) 人 → 人権の花運動に参加した児童生徒数	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) ア: 人権の花運動に参加した児童生徒数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 命の尊さを実感してもらうことによって、やさしさ、思いやりの心が育つ。	(単位) 人 → 人権の花運動に参加して人権の大切さを学んだ児童生徒数	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) ア: 人権の花運動に参加して人権の大切さを学んだ児童生徒数
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠 伝達式やイベントなど人権の花運動に関わることによって、命の尊さを実感することができるとうえで延べ人数を設定した。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込	
① 活動指標	ア	回	0	0	1	1	0	0	1	0	
	イ										
② 対象指標	ア	人	0	0	250	279	0	0	300	0	
	イ										
③ 成果指標	ア	人	0	0	250	279	0	0	300	0	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円			141	141				
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
			一般財源	千円			1				
		(A) 事業費計	千円	0	0	142	141	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	1	0	3	0	0	0	0
	延べ業務時間	時間	40	10	0	250	0	0	0	0	
	(B) 人件費計	千円	158	39	0	990	0	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	158	39	142	1,131	0	0	0	0	

事務事業名	地域人権啓発活動活性化事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	人権啓発教育課
-------	---------------	-----	-------------	-----	---------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した R元年度実施なし。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 R元年度実施なし。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>廃止   <input type="checkbox"/>休止   <input type="checkbox"/>目的再設定   <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携   <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善)   <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						